

# 令和3年度 内浦小中学校 スクールプラン

〈校訓〉 自主 克己 友情

〈教育目標〉 未来に向かって挑戦する子

〈めざす学校像〉	〈めざす児童生徒像〉	〈めざす教師像〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>志をひとつに職務を全うする学校</li> <li>子供と共に活動し成長しようとする学校</li> <li>小規模校の課題解決のために創造的な学習活動を展開する学校</li> <li>地域に貢献し地域から信頼される学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夢や目標の実現に向かって、自ら学び、自己変容を図る子</li> <li>自他のよさや違いを認め、助け合いながら仲間とともに歩む子</li> <li>困難に立ち向かう強い心身を持ち、粘り強く挑戦し続ける子</li> <li>ふるさとを愛し、ふるさとに貢献しようとする子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の目線に立ち、何が子供の幸せにつながるかを常に考え行動する教師</li> <li>使命感と責任感を持って常に研鑽に励み、新しいことに挑戦し続ける教師</li> <li>「人を育てる」という強い思いを持つ教師</li> <li>児童生徒とともに地域とのつながりを積極的に求める教師</li> </ul>

〈重点目標〉

〈確かな学力の育成〉	〈豊かな人間性の育成〉	〈たくましい心身の育成〉	〈信頼される学校の創造〉
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎個に応じたきめ細かな指導をとおして、自ら問題解決に取り組む子を育てる</li> <li>○多様な読書をおして、広い視野と深い知識をもった子を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎確かな人権感覚を持ち、正しく判断し、実践する子を育てる</li> <li>○豊かな感性をもち、よりよく生きようとする子を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣と健康・安全習慣を身につけた子を育てる</li> <li>◎粘り強く最後まで取り組む心身を持った子を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地域を誇りに思い、ふるさとを愛する子を育てる</li> <li>○積極的な情報発信に努める</li> </ul>

〈具体的取組〉

<ul style="list-style-type: none"> <li>○わかる授業をめざした授業改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数であることを生かしたきめ細かな学習指導</li> <li>・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る工夫</li> <li>・「深く考えさせる」授業の実践</li> </ul> </li> <li>○主体的に学ぼうとする学習意欲を高める授業づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・対話的・協働的な問題解決型の授業の創造</li> <li>・学び方の指導を通じた学習意欲の向上</li> <li>・表現力・発表力向上のための場面づくり</li> </ul> </li> <li>○読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な読書の奨励と必読図書を選定</li> <li>・家庭読書の習慣づけ</li> <li>・図書を活用した学習の推進</li> <li>・中央図書館や図書支援員との連携</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育、道徳教育の推進・充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分事として考えさせる指導方法や道徳の評価方法の研究</li> <li>・人権作文発表会の充実</li> <li>・自己有用感や達成感の醸成</li> </ul> </li> <li>○特別活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と共に取り組む行事の充実</li> <li>・児童生徒会による行事等の企画運営の推進</li> <li>・行事等の目標設定とふりかえり活動の充実</li> <li>・キャリア教育の推進と職場体験活動の充実</li> </ul> </li> <li>○組織的な生徒指導の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携の強化</li> <li>・いじめ、不登校の未然防止や早期発見、早期対応</li> </ul> </li> <li>○交流活動の創造 <ul style="list-style-type: none"> <li>・内浦保育所との連携</li> <li>・内浦地区文化祭や敬老会への出演</li> <li>・近隣校との交流</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣と健康・安全習慣の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣や情報機器の正しいつきあい方(スマートルール)の指導</li> <li>・情報モラル教育の充実</li> <li>・健康、安全指導の充実</li> <li>・食育の充実</li> </ul> </li> <li>○粘り強く取り組む心身の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や部活動での個に応じた目標設定</li> <li>・スモールステップによる成功体験の積み重ね</li> </ul> </li> <li>○保健体育学習の活性化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気アップ作戦」などによる体力の向上</li> <li>・保健体育の指導方法の工夫改善</li> </ul> </li> <li>○運動に親しむ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・業間マラソン、業間縄跳び等の実施</li> <li>・効果的な部活動の指導法研究</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や地域社会への参画、貢献 <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習の時間における地域学習の推進</li> <li>・地域イベントへの参画、貢献</li> <li>・地域に根ざした体験活動の充実</li> </ul> </li> <li>○質・量共に充実した情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級だより等の内容の充実</li> <li>・ホームページや学校ブログ、Instagramの積極的な更新</li> </ul> </li> </ul>
--	---	---	---

〈数値目標〉

<ul style="list-style-type: none"> <li>□授業の内容がわかったと答える児童生徒が90%以上</li> <li>□児童生徒を主体的に学ばせるための取組を行ったと答える教員が90%以上</li> <li>□学年の読書の目標を達成したと答える児童生徒が80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□相手を思いやる言動ができたと答える児童生徒が90%以上</li> <li>□行事等で設定した目標を達成することができたと答える児童生徒が90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□スマートルールを意識して生活したという児童生徒が80%以上</li> <li>□進んで運動に取り組んだと答える児童生徒が90%以上</li> <li>□行事や部活動で目標を達成できたという児童生徒90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□学校は積極的に地域と進める活動に取り組んでいるという保護者が90%以上</li> <li>□学校は積極的に情報発信を行っているという保護者が90%以上</li> </ul>
--	--	--	--

〈業務改善に関する取組み〉

<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムカードを活用した勤務時間管理意識の向上と退校時刻(小…19時、中…19時30分)の設定</li> <li>・定時退校日(リフレッシュデー)の設定(小…18時、中…19時)</li> <li>・朝礼(水・金)、終礼(月)日の設定。連絡掲示板の活用</li> <li>・複数の部活動担当者による交代しての指導</li> <li>・ICT機器を活用したペーパーレス会議の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内会議の内容精選と時間設定(職員会議…60分 研修会…80分)</li> <li>・週末の部活動は3時間程度、年間5日以上以上の休養日</li> <li>・事務職員による学級集金業務(支払い等)の代行</li> </ul>
--	--